

令和3年9月22日

今後の血液事業の在り方について（議論のたたき台）

血液製剤の需要は増加傾向にある一方で、人口構造の変化から献血血液の将来的な確保に課題がある。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、海外では原料血漿の確保や、国内でも企業や学校等における献血活動が、困難になるといった課題が浮き彫りとなった。

こうした近年の状況変化を踏まえ、血液事業の在り方について、次回の基本方針の見直しに向け、現状を整理しつつ、意見交換を開始してはどうか。

<目的>

- ・ 献血血液の必要量の確保
 - ・ 血液製剤の安定供給
 - ・ 血液製剤の安全性の向上と適正使用の推進
- 等

<主な検討項目>

- ・ 血液製剤の需給の将来見通し
 - ・ 献血血液の確保策
 - 採血基準の在り方
 - ・ 国内自給率の向上
 - ・ 血液製剤産業の持続可能性を高める産業構造の見直し
 - 輸出の在り方
 - ・ 研究開発の推進
 - ・ 危機管理の観点を踏まえた供給体制の整備
- 等

<検討スケジュール>

令和3年度 現状と課題の整理課題に関する意見交換
対応の方向性をとりまとめ

令和4年度 必要に応じ、調査研究等を実施
基本方針や制度改正に向けた対応策をとりまとめ
(令和5年度 基本方針の改定)